

けやき

学校便り・7月号
小林市立西小林小学校
令和三年七月十一日 蒼・磨屋



ズーム研修の様子～校長室～

現代の社会環境の変化はとて著しいものだと感じています。このコロナ禍の中、急速にデジタル化が進んでいます。学校でも、出張は校内でズーム研修を行うことが多くなっています。子どもたちが大人になる頃はもっと加速すると思います。学校も情報教育の充実を推進していきたいと思ひます。

思い出しますと、昨年度は4月・入学式の次の日から学校休業日で、夏休みも少し短くなりました。今年もコロナ対策で、会合、研修等の集まりは、まだ十分に開催できる状況ではありませんが、運動会、田植え、5年の集団宿泊学習など、学校行事は計画通り行うことができませんでした。でも、参観日は4月のみ行いました。また、PTA総会もできませんでした。分散が、各専門委員会は、分散の形態で実施できました。このようにアフターコロナに少しずつですが向かっていくなと感じています。保護者の皆様、地域の皆様、本館にご理解とご協力をお願いいたします。

いよいよ明日から夏休みです
～事故のない、楽しい休みになることを願っています～



西中東門から見た西小の風景

第5学年集団宿泊学習～御池青少年自然の家に宿泊～

7月1日(木)～2日(金)の2日間、第5学年21名(西小林小19名、幸ヶ丘小2名)が、御池青少年自然の家に宿泊して、様々な体験学習を行いました。この宿泊学習は、「規律・協同、友愛、奉仕」の4つの教育方針について、体験活動を通して学ぶことを目的としています。

1日目は、キーホルダー作り(写真左)と火おこし体験(写真右)に挑戦しました。火おこしは、木と木の摩擦を利用して、何度も何度もチャレンジしましたが、なかなかうまくいきませんでした。みんな、汗びっしょりになりながらも、時間をかけて、やっと火をともしることができました。



そして、この火種を利用して、カレー作りを行いました。みんなで楽しく飯ごうで、ご飯を炊いたり、野菜を切ったりして各グループごとに、こだわりのある、とってもおいしいカレーライスを作ることができました。2日目は、追跡ハイキングを行い、道に迷いながらもみんなゴールすることができました。この2日間、すばらしい体験をし、成長したなと思ひました。



みんなで七夕飾りを作りました

七月七日は七夕の日でした。学校の方々の協力により、小林地区更生保護女性会の方々にお願いし、七夕飾り作りをお願いいたしました。みんなの願い事が叶うように、七夕飾りを作りました。みんなの願い事が叶うように、七夕飾りを作りました。



茶飲ん場教室の七夕

手話学習を体験(第3・5学年)

7月13日(火)に3年生が、16日(金)に5年生が、手話学習を行いました。「木の実会」及び「社会福祉協議会」から講師の方々为学校においでくださり、子どもたちに、社会福祉の意味や障がいのある方々と共に社会をつくっていくことの大切さを教えていただきました。

また、手話の実技指導もしていただき、あいさつの仕方、自分の名前や趣味を紹介する練習も行いました。



<裏面もご覧ください。>